

03 地域連携

私たちは、たくさんの仲間と力を合わせながら、新しい明日をつくっていきます。地域とのふれあいを大切に、連携の輪をもっと大きく広げていきたいと思えます。

地域の一員として、地域と北海道を考える。



地域の大学生と協働した雪かき

地域の企業・団体との連携

「キッズタウン」への想い

「キッズタウン」は、職業体験を通じて仕事の楽しさや社会の仕組みを学んでもらい、まちの成り立ちを伝えることや、地元への郷土愛を育んでもらうことを目的に、自治体や教育委員会、地元企業などの協力のもと、道内5都市(釧路市、函館市、苫小牧市、帯広市、旭川市)で毎年開催している親子イベントです。子どもたちは保護者が見守る中で、仮想のまち「キッズタウン」で消防士や薬剤師、銀行員、パティシエなどいろいろな職業につき、さまざまな体験をします。体験時間に応じて、まことに名前のついた疑似通貨が給料として支払われ、キッズタウン内の店で実際に買い物をすることができます。



「キッズタウン」の様子

2010年にスタートしたキッズタウンはこれまで累計1万5千人ほどの子どもたちが参加してくれました。2017年も5都市で合計約2,400人の子どもたちが参加し、さまざまな職業に一生懸命に取り組まれました。

「キッズタウン」協力企業・団体(2017年)

- 釧路市 / 一般社団法人 釧路地方自動車整備振興会、一般社団法人 釧路薬剤師会、オムレツカフェレストラン ALOHA、釧路厚生社、釧路TB北海道 釧路支店、釧路トップオブ釧路 山花温泉リゾート、釧路マルイ六峰社、釧路菓子高組合、釧路ガス、釧路市消防本部、釧路市水産加工振興センター、釧路市水産加工工業協同組合、釧路信用金庫、釧路方面釧路警察署、コーチャンフォーグループ、釧路ファイアフル、釧路電気工業協同組合、和商市場駄菓子コーナー、立ち喰いそばマキ、鶏雑グループ pan de pan、日本郵便 釧路中央郵便局、釧路西郵便局、丸善木材、(株)うちや美容室、一般社団法人 釧路青年会議所、(株)カーサポートイン
- 函館市 / (株)あさひや、北島製パン、サン・リフレ函館 レストラン ROKAN、総合警備保障、函館南丸、函館ニイ学館、函館ニューメディア NC V函館センター、函館朝市協同組合連合会、函館技能士会、函館空港ビルディング、学校法人 野文学園函館歯科衛生士専門学校、一般社団法人 北海道歯科衛生士会函館支部、函館市環境部函館の街をきれいにする市民運動協議会、函館市消防本部、函館市食生活改善協議会、函館市青果物地方卸売市場活性化対策委員会、函館新聞社、函館税務署、函館市財務部、一般社団法人 函館薬剤師会、函館山ロープウェイ(株)FMいるか、ハコレドコム(株)、北海道銀行、北海道函館方面函館西警察署、(株)ルネサンス、公益社団法人 函館市シルバー人材センター、はこだてキッズショップ(キッズタウン実行委員会)
- 苫小牧市 / 愛らんどベーカーリー、胆振地区造園技能士会、王子サーモン(株)、(株)あいファーム、(株)コスモグラフィック、(株)金剛剛、総合警備保障(株) 苫小牧支店、苫小牧海上保安署、苫小牧ガス(株)、苫小牧警察署、苫小牧市消防本部、苫小牧市立病院、苫小牧信用金庫、苫小牧地区自動車整備協同組合、苫小牧民報社、ふくし大作社!!!2017実行委員会、社会福祉協議会、北海道電力(株)、公益社団法人 北海道作業療法士会、ヤマト運輸 千歳支店、(株)住まいのウチイ、(株)北海道銀行、苫小牧市民薬局(株)、苫小牧市役所環境衛生部ゼロゴミ推進室、rinacchi
- 帯広市 / あぐりとかち、足寄動物化石博物館、(株)エムカンパニー、北海道警察 釧路方面帯広警察署、帯広市事務局、とかち広域消防局、帯広消防署、帯広市図書館、帯広信用金庫、一般社団法人 帯広地方自動車整備振興会、日本郵政(株) 帯広郵便局、西帯広郵便局、(株)オカモト、(株)海寿商店、帯広美容協会、十勝バス(株)、(株)十勝毎日新聞社、(株)藤森商会、北海道看護協会十勝支部、(株)北海道銀行、(株)北海道新聞社、帯広支店、北海道電力(株) 帯広支店、とかち薬剤師会、ヤマト運輸 道東支店、六花亭製菓(株)、(株)帯広シティーケール、Guild(ギルド)、(株)みかんせい、(株)福原
- 旭川市 / 旭川印章業組合、(株)三建設事務所、東芝ホクト電子(株)、旭川市子育て支援部母子保健課、(株)豊屋総本店、一般社団法人 旭川薬剤師会、(株)日本旅行北海道、トータルエステティックサロン Bochoumer(ボシュメル)、(株)北海道銀行、旭川理容美容専門学校、旭川中央旭川東警察署、旭川市消防本部、旭川駅立売高合(株)、(株)サキエ芸、旭川ガス(株)、花本建設(株)、(株)カノモ企業、(株)至誠まごころ館、(株)山城教材社、(株)北海道録音センター、(株)カワムラ、一般社団法人 旭川地方自動車整備振興会、(株)道北アークス、国立大学法人 旭川医科大学、一般社団法人 道北地域旭川地場産業振興センター、北海道教育大学旭川校、旭川大学短期大学部

旭山動物園との連携

2008年、当社は旭川市と「魅力あるまちづくりに関する基本協定」を結び、園内に休憩スペース「やすらぎの森」を寄贈しました。さらにその隣に地元企業や学校、市民が協働で農園を開き、2010年からは「つながる輪『いのち』」と名づけた、動物の排泄物と微生物の働きを活かした循環型農業の環境教育プログラムを行っています。5月の農園開きは恒例行事で、種まきと田植えに加えて、2013年から整備を進めてきたビニールハウス「ホテルが生息できる環境づくり」の一環で、ホテルの幼虫放流も行っています。

また、動物園を通して子どもたちの未来を応援するために、新施設の建設や大規模な修繕、新しい動物の購入などの資金となる「あさひやまもつと夢基金」を支援する自動販売機を市内に設置して、売上の一部を同基金に毎年寄付しています。

VOICE



札幌市円山動物園 園長 加藤 修 さん

生きものたちを通して環境への気づきと学びを

御社には、円山動物園が特に力をいれている環境教育活動やお客様さまへのおもてなしの取り組みに対して、さまざまなご支援をいただいています。

その中心が、円山動物園の動物たちのかわいイラストが大人気の「ミニッツメイドQoo どうぶつデザイン」によるご支援です。これによって、子どもたちを科学へいざなう、「サイエンズO」や、生物多様性保全のための「これ以上増やさないで、北海道の外来生物展」などの企画が実現しました。

これからの動物園で重要なのは、保全と教育です。今後も、御社の温かくそして力強いご支援をいただきながら、未来を担う子どもたちの教育、育成に力を注いでまいります。身近なパートナーとしてご支援をよろしくお願いいたします。

円山動物園との連携

当社は札幌市と、「札幌市円山動物園を舞台とした環境協働事業に関する協定」や、「さつぽろまちづくりパートナー協定」に基づき、2008年、環境への意識を高めてもらう園内休憩スペース「ネイチャーカフェ・アース」を開設し、運営しています。2010年には「猛禽類野生復帰施設」の建設費用の一部を寄付。2013年からは、環境問題や食育へのきっかけになってほしいと、同園で飼育されている絶滅危惧種4種(ホッキョクグマ、マレーバク、オオワシ、カバ)をイラストで描いた「ミニッツメイドQoo どうぶつデザイン」を地域限定で発売し、売上の一部を毎年同園に寄付しています。

雪かきボランティア

本社のある札幌市清田区近隣では、当社社員と地域の大学生が連携し、高齢者や体が不自由な方のお宅やゴミステーション、消火栓まわりを除雪するボランティアを2009年から続けており、2017年からは札幌市豊平区の西岡地区でも実施しています。また、異業種の企業と連携して倶知安町の豪雪地を訪ね、高齢独居世帯の雪かきも実施しています。

社員による清掃活動

札幌のシンボル大通公園をきれいにしようと、2013年、当社社員がボランティアで清掃活動を始めました。いまでは多くの企業や団体が参加するものとなり、2015年には札幌市から「札幌市民憲章実践者表彰」を受賞しました。

さらに本社・札幌工場のある清田区とは2010年に、まちの美化に向けた「アダプト・プログラム」(*)を締結。本社前の市道の清掃を実施しています。

※アダプト・プログラム/アダプトとは養子縁組のこと。ここでは道路を養子に見立てて各団体が里親となつて定期的に清掃活動を行うこと。



企業連携の清掃活動



ネイチャーカフェ・アース



「ミニッツメイドQoo どうぶつデザイン」



体験型環境教育プログラム「つながる輪『いのち』」